



風は冷たくても陽ざしは暖かく感じられるようになりました。今はさくら組が毎朝氷の確認をしていますが、だいぶ薄くなってきました。これから気温も少しずつあがってくると思います。改めて卒園が近くなってきていることを感じます。小さかった子供たちも大きくなってきました。さりげない時に伸びた身長や大きくなった手を見て成長を感じます。それとともに心も成長してきました。



読書活動のふり返り -持続可能な教育-



鳩山幼稚園長 岡部 玲子

園だより2月号で「栽培活動」について振り返りをしました。今月号では「読書活動」について振り返りたいと思います。

鳩山幼稚園では、『豊かな感性』を育てる取り組みの一つとして、今年度も読書活動に力を入れてきました。具体的には、毎週木曜日に本の貸出と返却、絵本ノートの作成と活用(絵本の途への保護者の「ひとこと」感想と園長のコメント) 学期ごとに町の図書館からの絵本50冊の貸出し、年2回の子供たちの図書館訪問などに取り組んできました。保護者の皆さんや町立図書館などと連携し2年間を通して取り組んできたことで、子供たちの“言葉の力の向上”や“文字に対する興味”“本を読む楽しさ” “親子の触れ合い”などたくさんの成果があったかと思えます。過日の「保護者アンケート(読書に関する項目)」でも皆さんから良い評価をいただきました。(アンケート結果については後日お知らせします。)

絵本の貸し出しは3月3日が今年度最後となります。多くの保護者の皆さんに「ひとこと」欄に感想をいただきました。そこからは、家族の触れ合いや一人一人の子供の成長がたくさん感じられ私自身も楽しく、そして何よりも“ほっこり”とした気持ちになって読ませてもらいました。心の財産となりました。ありがとうございました。



【絵本ノートうちのひとの「ひとこと」感想欄の記述から】

○卒園までたくさんの本を借りて、子供と一緒にゴロゴロしながら読んだ時間はとてもいい思い出になりました。園長先生の仰る通り、私も無類の本好きで鳩山図書館で子供と借りた絵本はこの2月で1300冊になりました。図書館や幼稚園の読書手帳にある絵本を、いつか自分の子供たちが我が子に読んであげたりするのかなと思うと楽しみです。本当にありがとうございました。

○(ポケモン空想科学読本)の感想は?と聞いた時、もくじを見て「42ページ!」と自分の面白いと思ったところをしっかりと調べられることにとっても驚きました。いつの間に目次が使えるようになったのだろう…、私は幼稚園の時にこんなに本が読めなかった(読まなかった?)ので、ただただ感心です。

* 「さくいん」から調べたいものを見つけることが出来るようになった子もいます。

◆ 鳩山幼稚園の2年間はあっという間で、すぐに小学校就学になります。幼稚園で身に付けた読み聞かせや本を読む習慣が、小学校での読書習慣に繋がり教科の学習との相乗効果で子供たちに、『ことばの力』が身につけてくれたらと願っています。

◆ 本(読書)によって、知らない世界を知り、知識が広がっていくことで、考える力が培われます。また、登場人物の気持ちを感じることが出来るようになり、やがて想像力を持って相手を思いやる心の芽生えに繋がっていきます。自分たちが実際に体験できることは限られています。本によって世界が広がり、想像する力が生まれ、やがて、世の中で何が起きているのか、他人事ではなく、自分事として考えることが出来るようになるのではないかと思います。鳩山幼稚園の2年間の読書への取り組みはささやかなものですが、今は小さな子供たちもやがて大きくなり、世の中の様々な出来事を自分事として考え、より良い行動の出来る人になってくれたらと思っています。私たち教育者の責務は、子供たちにそのような力が身につけていけるようにしていくことかと思えます。それが、持続可能な教育(SDE)ではないかと思えます。

活動の流れ <3月>



時期	さくら組	にじ組
3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> にじ組の卒園式の会場の飾りを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒園式の会場に飾る等身大の絵を描く。
中旬	<ul style="list-style-type: none"> じゃがいもを植える。 にじ組へのプレゼントを作って贈る。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒園式の練習をする。証書の受け方・並び方・入退場の仕方等
下旬	<ul style="list-style-type: none"> にじ組の卒園式の練習を見る。 自分のロッカーの整理をする。年長組に持ち物を移動する。 年少組修了式に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の保育用品を整理する。 卒園式に参加する。



<がんばるめあて> * へんじは「はい」 * ろうかは走らない

<ピジョッコファーム通信>



やったー！
大きなニンジンだー！
(2月2日)

*** 花壇を作ってもらいました ***

幼稚園には花壇がありません。そこで、花壇作りを提案したところ、バス運転手の3名が、施設整備の一環として花壇を作ってくれました。

はじめに、設置予定場所にあったアジサイの木を園舎裏に移植し、縁石を並べ、もともとあった土を耕し、新しく土を足してくれました。そもそもは園庭だったところなので、少し掘るとすぐにたくさんの小石が出てきたり砂地になったりしていて、植物が育つにはあまり適してはいませんが、子供たちが遊べるようなお花を育ててみたいと思い、種も買ってきました。

失敗するかもしれませんが、子供たちにも意識づけながらチャレンジしていきたいと思います。まずは種をまいて来年度に向けて苗作りから始めます。



「パンどろぼう」シリーズ第3弾 「パンどろぼうとなぞのフランスパン」にじ組上演



12月のお楽しみ会の後、子供たちの中から沸き上がった“パンどろぼうの劇、もっとやりたい！”の声。後輩のさくら組に見せるため、一生懸命練習しました。コロナ禍の関係で残念ながらこの日にじ組はフルメンバーではありませんでしたが、残ったメンバーで表情豊かに演じてくれました。

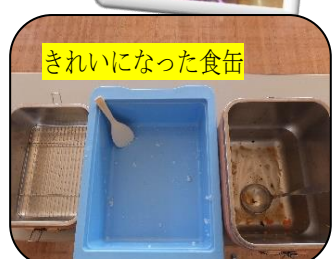
<2月・3月>ピジョッコフォト



2月3日節分



第1回給食体験



きれいになった食缶



1月2月のお誕生会



パッパバラリラ〜♪



ママゴンさん新ネタ



小鷹議員さん宅に到着



貴重なウコッケイの卵



黒ウコッケイ



白いウコッケイ



泉井交流体験エリア

2月15日、お別れ園外保育で、今年も小鷹議員さん宅のウコッケイとのふれあい体験をさせていただきました。ウコッケイが突然卵を産み落とすハプニングもあり、子供たちはびっくりするやら大喜びするやら楽しいひと時を過ごせました。そのあと、泉井交流体験エリアで遊んで帰りました。



第2回給食体験

今日は自分で運びます



完食です

<未就園児保育体験>



ひよこ組

バス乗車体験



バス乗車体験3回目



デジタル絵本

「どうぞのいす」
香山美子・柿本幸造 作 柿本幸造 絵



3月

お誕生会



ポンポコさん復活しました！来年もよろしくお願ひします。



幼稚園のホームページが新しくなりました。まだ検索サイトからは出にくいので、URLを入力するか横のQRコードを読み込んでご覧ください。 <https://hatoyama-yochien.edumap.jp>





たくさんあそぼう！



さくらぐみだより

「やってみたらできた！」



さくら組担任 田畑瞳

雲梯に挑戦しているときのことで。みんなは、教師に支えられながら、何度も挑戦します。並んで待っている間には、「仲間がいるから頑張れるよねー！」と言いながら、友達と顔を見合わせてやる気満々な様子です。そこで教師が「1本挑戦してみよう！」とA君に声をかけてみると、「やだ！」とすぐに答えました。「大丈夫だよ。A君ならきっとできるよ！」と応援すると、しばらく怖さと戦って、「えいっ」と一人で手を伸ばすことができました。「やってみたらできた！」とにこにこな表情を見ることができました。次からは、「やってみる！」と雲梯の半分のところまで一人で挑戦することができました。



さくら組のみんなは、憧れのかっこいいにじ組になるために、「がんばりパワーをいっぱい貯めよう！」とペダルローラー、缶ポックリ、雲梯、鉄棒、長縄と色々な遊びに挑戦しました。一回挑戦すると、『がんばりカード』にシールを1枚貼ることができます。1枚カードが終わると、帰りの時間に「頑張ったね！」とみんなから拍手をもらい、保育室の壁に貼っていきました。今ではたくさんカードが貼られています。そのカードを見て、Bちゃんは「(みんな)めっちゃめっちゃ頑張ってるね！」と嬉しそうに言います。Cちゃんは「もうすぐにじ組になれるかな？」と楽しみに話していました。

この1年、幼稚園で色々な遊びを先生や友達と楽しんでできました。友達と一緒に過ごすことの楽しさを知り、自分で新しいことにも挑戦しようとする心も大きくなりました。『がんばりカード』で貯めたがんばりパワーを、憧れのにじ組になって、たくさん発揮してほしいと思います。残りのさくら組の生活も、憧れのにじ組さんと一緒に過ごせる日も、笑顔いっぱい大切に過ごしていきたいと思います。1年間保育に協力いただき、ありがとうございました。

にじいろ

「 みんなでつないだりレー 」

にじ組担任 窪田幸恵



「リレーやりたい！」とAちゃんが皆を誘い、自分たちでチーム分けをして走り出しました。「頑張れ～」と歓声が上がると、途中でAちゃんが転んでしまいました。「うわ～ん」と泣き出し転んだまま立ち上がれないAちゃん。そこへ、B君が駆け寄り、バトンを持ってAちゃんの代わりに走り出しました。転んでしまったAちゃんの元へは、Cちゃん、Dちゃんたちが助けに行きます。B君が走り出し、再びリレーが始まりました。どちらのチームも、応援の声が一段と大きくなり、リレーは最後まで盛り上がりました。



Aちゃんのチームは、惜しくも負けてしまいましたが、どの子も勝敗より、バトンをアンカーまでつなぎ、ゴールできたことに満足そうな表情を浮かべていました。B君は、『一緒にチーム』『皆で勝ちたい』『Aちゃんの代わりに俺が走る』という思いから、体が自然とAちゃんの元へと向かっていました。周りの子も、そんなB君の姿を見て、たくさん声援を送り、B君の一生懸命な姿を認めていました。転んでしまったAちゃんの体を起こして慰める子も何人もいて、リレーをしていたひと時は、11人みんなの心がつながったようで、とても素敵な時間となりました。2年間、同じ仲間とたくさん経験を一緒にし、喧嘩もしてきたけれど、楽しい時間を共に過ごし、それぞれ皆が、11人の友達を大切な仲間として感じることができているようです。卒園まで残りわずかですが、一日一日を大切に、楽しく過ごしていきたいと思います。1年間ご協力いただきましてありがとうございました。